



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 第一三共株式会社

上場取引所 東

コード番号 4568

URL <http://www.daiichisankvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 譲治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石田 憲昭

TEL 03-6225-1125

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	807,067	8.2	100,080	7.0	88,456	△7.6	74,900	45.4
25年3月期第3四半期	745,632	7.1	93,540	1.8	95,686	10.7	51,500	193.6

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 119,156百万円 (67.7%) 25年3月期第3四半期 71,074百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	106.40	106.20
25年3月期第3四半期	73.16	73.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	1,818,285	992,981	52.9	1,366.06
25年3月期	1,644,071	915,745	53.7	1,253.86

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 961,651百万円 25年3月期 882,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,110,000	11.2	105,000	4.5	90,000	△9.2	65,000	△2.4	92.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、8ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	709,011,343 株	25年3月期	709,011,343 株
26年3月期3Q	5,052,835 株	25年3月期	5,063,530 株
26年3月期3Q	703,956,705 株	25年3月期3Q	703,924,993 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
【連結業績】	2
【セグメント報告】	3
【研究開発活動】	7
(2) 特記すべき経営課題	8
(3) 財政状態に関する説明	8
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	8
3. 四半期連結財務諸表	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【連結業績】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
売上高	745,632	807,067	61,434 8.2%
営業利益	93,540	100,080	6,539 7.0%
経常利益	95,686	88,456	△7,230 △7.6%
純利益	51,500	74,900	23,400 45.4%

<グローバル主力品売上高>

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

品目	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
オルメサルタン 高血圧症治療剤	188,947	227,918	38,971 20.6%
プラスグレル* 急性冠症候群治療剤	11,503	16,858	5,354 46.5%

*欧米におけるイーライ・リリー社との共同販促収入及び当社の販売地域での売上高の合計

<研究開発費>

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計
研究開発費	131,823	136,959
対売上高比率	17.7%	17.0%

<主要通貨の日本円への換算レート(期中平均レート)>

	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計
1米ドル/円	80.01	99.39
1ユーロ/円	102.18	132.24
1インドルピー/円	1.50	1.69

① 売上高

当社グループの当第3四半期連結累計期間（2013年4月1日～12月31日）の売上高は、614億円増収の8,071億円（前年同期比8.2%増）となりました。

第一三共グループにおいて高血圧症治療剤**オルメサルタン**、急性冠症候群治療剤**プラズグレ**ル、抗潰瘍剤**ネキシウム**、アルツハイマー型認知症治療剤**メマリー**、消炎鎮痛剤**ロキソニンテープ**等が伸長いたしました。またドル・ユーロに対する円安の寄与もありましたので、ランバクシーグループの減収があったものの、当社グループ全体では増収となりました。

② 営業利益

当第3四半期連結累計期間の営業利益は、65億円増益の1,001億円（前年同期比7.0%増）となりました。

第一三共グループは増益となり、ランバクシーグループは減益となったものの、当社グループ全体で増益となりました。

③ 経常利益

当第3四半期連結累計期間の経常利益は、72億円減益の885億円（前年同期比7.6%減）となりました。ランバクシーグループにおける為替差損の計上などにより、減益となりました。

④ 純利益

当第3四半期連結累計期間の純利益は、234億円増益の749億円（前年同期比45.4%増）となりました。固定資産売却益及び投資有価証券売却益の計上などにより、増益となりました。

【セグメント報告】

① 第一三共グループセグメント

売上高は、741億円増収の6,746億円（前年同期比12.3%増）となりました。

営業利益は、254億円増益の1,006億円（連結調整前、前年同期比33.9%増）となりました。

a. 日本

日本の売上高は、4,196億円（前年同期比5.9%増）となりました。

国内医薬では、**ネキシウム**、**メマリー**、**ロキソニンテープ**などの伸長が貢献し、売上高は3,654億円（前年同期比6.6%増）となりました。

輸出医薬の売上高は、146億円（前年同期比6.5%増）となりました。

当期におきましては、2013年6月11日に骨粗鬆症治療剤**プラリア**を発売いたしました。また、2013年12月20日に抗インフルエンザウイルス剤**イナビル**のウイルス感染症予防の効能・効果追加に係る承認を取得いたしました。

ヘルスケア（OTC事業）の売上高は、370億円（前年同期比1.4%減）となりました。なお、通信販売専用スキンケアシリーズ **ダーマエナジー** をご使用された一部のお客様に肌トラブルが発生するケースが確認されたことにより、2013年12月5日に同製品の販売を中止いたしました。

<日本の売上構成>

(単位：億円。億円未満四捨五入)

区 分	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
国内医薬	3,428	3,654	225 6.6%
輸出医薬	137	146	9 6.5%
ヘルスケア	376	370	△5 △1.4%

<国内医薬主力品売上高>

(単位：億円。億円未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
オルメテック 高血圧症治療剤	585	604	20 3.4%
ロキソニン 消炎鎮痛剤 (うち ロキソニンテープ)	459 (258)	468 (280)	9 1.9%
ネキシウム 抗潰瘍剤	127	402	275 216.8%
クラビット 合成抗菌剤	271	259	△12 △4.6%
メマリー アルツハイマー型認知症 治療剤	174	239	65 37.5%
アーチスト 高血圧・狭心症・ 慢性心不全治療剤	171	171	1 0.3%
メバロチン 高コレステロール血症 治療剤	199	170	△28 △14.3%

b. 北米

北米の売上高は、1,585億円（前年同期比15.0%増）となりました。現地通貨ベースでは15億9千5百万米ドル（前年同期比7.4%減）となりました。

第一三共Inc.において、**トライベンゾール**、**ウェルコール**、**エフィエント**などが増収となったものの、**ベニカー／ベニカーHCT**、**エイゾール**などが減収となり、同社の売上高は前年同期並みの13億米ドルとなりました。

一方、ルイトポルド社は、**ヴェノファー**等の売上が減少し、同社の売上高は2億8千万米ドル（前年同期比26.3%減）となりました。このため、北米全体では現地通貨ベースで減収となりました。

なお、2013年8月にルイトポルド社が鉄欠乏性貧血治療剤**インジェクタファー**を発売いたしました。

＜第一三共Inc. 主力品売上高＞

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
ベニカー／ ベニカーHCT 高血圧症治療剤	698	660	△38 △5.4%
エイゾール 高血圧症治療剤	135	129	△6 △4.4%
トライベンゾール 高血圧症治療剤	59	71	12 21.3%
ウェルコール 高コレステロール血症治療剤・ 2型糖尿病治療剤	298	329	31 10.4%
エフィエント 急性冠症候群治療剤 (共同販促収入)	94	115	21 22.6%

＜ルイトポルド・ファーマシューティカルズInc. 主力品売上高＞

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
ヴェノファー 貧血治療剤	237	182	△55 △23.2%

c. 欧州

欧州の売上高は、599億円（前年同期比38.6%増）となりました。現地通貨ベースでは4億5千4百万ユーロ（前年同期比7.3%増）となりました。オルメテック／オルメテックプラス、セビカーHCTが増収に寄与いたしました。

<第一三共ヨーロッパGmbH主力品売上高>

(単位：百万ユーロ。百万ユーロ未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
オルメテック／ オルメテックプラス 高血圧症治療剤	226	258	31 13.8%
セビカー 高血圧症治療剤	77	76	△1 △1.5%
セビカーHCT 高血圧症治療剤	31	43	12 40.7%

d. その他の地域

その他の地域の売上高は、366億円（前年同期比58.3%増）となりました。

中国、韓国、ブラジル、ベネズエラ等で前年を上回る売上伸長を果たしております。

中国においては、オルメテック、メバロチン、鎮咳去痰剤アスメトンも伸長いたしました。なお、当期におきましては、2013年4月に排尿障害改善剤ユリーフを発売いたしました。

韓国、ブラジル、ベネズエラでは、オルメサルタンを中心とする主力品が伸長しております。

② ランバクシーグループセグメント（2013年1月～9月）

売上高は、1,324億円（前年同期比8.7%減）となりました。

営業利益は、188億円減益の35億円（連結調整前、前年同期比84.4%減）となりました。

インド、東欧・CIS、アフリカ・中東など主要な新興国市場において売上を伸ばしましたが、北米ではアトルバスタチン後発品の独占販売による貢献があった前年同期と対比して大幅な減収となったため、ランバクシーグループ全体としては減収となりました。

＜ランバクシーグループ主要地域別売上高＞

(単位：百万インドルピー)

	2012年 第3四半期累計	2013年 第3四半期累計	対前年同期増減
北米	44,826	23,382	△21,444 △47.8%
インド	16,004	16,600	596 3.7%
東欧・CIS	9,374	11,636	2,262 24.1%
西ヨーロッパ	7,471	5,998	△1,473 △19.7%
アフリカ・中東	7,351	8,269	918 12.5%

【研究開発活動】

研究開発におきましては、癌・循環代謝・フロンティア領域などを新薬創出の優先領域と定め、外部資源の積極的な活用を含めさらなるポートフォリオの拡充に努めております。

① プラスグレル

日本においては、2013年6月に経皮的冠動脈形成術(PCI)を伴う虚血性心疾患の適応で製造販売承認申請を行いました。2014年度の発売を見込んでおります。さらに、虚血性脳血管障害患者を対象とした第3相臨床試験を順調に進めており、2015年度に承認申請する予定です。

② エドキサバン

2013年9月に、深部静脈血栓症(DVT)、肺塞栓症(PE)患者における静脈血栓塞栓症(VTE)の治療及び再発抑制に関するHokusai-VTE試験の結果を欧州心臓病学会にて発表いたしました。また、2013年11月に、非弁膜症性心房細動(AF)に伴う脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制に関するENGAGE AF-TIMI 48試験の結果を米国心臓協会(AHA)年次学術集会にて発表いたしました。両試験とも、対照薬であるワルファリンに対して有効性で非劣性、安全性において優越性を示すことが確認されました。

この結果に基づき、2013年12月に日本で、続いて2014年1月に欧米で、VTE及びAFに関する承認申請を行いました。

③ デノスマブ

デノスマブは骨代謝に関わる抗体医薬品であり、米国アムジェン社から日本における開発・販売権を取得しております。2012年4月にランマークの製品名で多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変の適応症で発売し、2013年6月にプラリアの製品名で骨粗鬆症治療剤として発売いたしました。

また、2013年8月に骨巨細胞腫を対象とした承認事項一部変更承認申請を行いました。

さらに、乳癌術後補助療法を対象としたグローバル第3相臨床試験、関節リウマチ患者を対象とした国内第3相臨床試験を推進しております。

(2) 特記すべき経営課題

ランバクシーは、2008年9月にパオンタサヒブ工場、デワス工場に関して米国食品医薬品局（FDA）から輸入禁止措置を受け、その後協議を進めてまいりました結果、2012年1月にFDAとの間で同意協定書を締結するに至りました。この協定書にもとづき、ランバクシーは、品質保証の強化、データの信頼性確保に向けて全社的な取り組みを推進し、第一三共もこれを支援しておりました。

しかしながら、2013年9月、新たにモハリ工場が米国向け輸入禁止措置を受け、同意協定書に則った課題解決の対象となりました。加えて、2014年1月、原薬工場であるトアンサ工場についても、FDAより同様の措置を取る旨の通知を受けました。

株主並びに関係者の皆様には、多大なご心配をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。

本件に関しましては、課題解決に向けた抜本的な取り組みを加速させるべきであると考えております。FDAなど薬事当局からの信頼を回復させるべく、第一三共グループの総力を挙げて推進してまいります。

(3) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における純資産は9,930億円（前期末比772億円増加）、総資産は1兆8,183億円（前期末比1,742億円増加）、自己資本比率は52.9%（前期末53.7%）となりました。

純資産の増加は、四半期純利益の計上や円安による為替換算調整勘定の増加等によるものです。

総資産は、支払債務が減少する一方で、無担保社債の発行及び借入金の増加等により、純資産と比較して増加額は大きくなっております。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2013年10月31日に公表しました2014年3月期連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	160,956	183,260
受取手形及び売掛金	238,495	269,316
有価証券	211,346	277,544
たな卸資産	174,431	189,601
繰延税金資産	111,118	111,087
その他	49,981	59,653
貸倒引当金	△2,686	△3,224
流動資産合計	943,643	1,087,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	138,274	140,709
機械装置及び運搬具(純額)	63,483	63,112
土地	35,789	36,188
建設仮勘定	47,865	59,374
その他(純額)	18,021	21,579
有形固定資産合計	303,434	320,964
無形固定資産		
のれん	73,543	70,940
その他	149,912	152,803
無形固定資産合計	223,455	223,744
投資その他の資産		
投資有価証券	129,186	121,595
繰延税金資産	32,547	40,511
その他	12,140	24,581
貸倒引当金	△337	△352
投資その他の資産合計	173,537	186,336
固定資産合計	700,428	731,045
資産合計	1,644,071	1,818,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,798	68,965
短期借入金	66,073	79,474
1年内償還予定の社債	—	60,000
未払法人税等	23,230	11,893
事業再編損失引当金	—	8,808
返品調整引当金	600	4,490
売上割戻引当金	1,979	3,362
和解費用引当金	43,742	—
環境対策引当金	1,344	—
未払費用	111,690	104,660
その他	127,651	132,285
流動負債合計	436,111	473,941
固定負債		
社債	107,900	88,467
長期借入金	93,017	174,213
繰延税金負債	45,109	46,964
退職給付引当金	13,877	8,236
役員退職慰労引当金	218	263
その他	32,091	33,217
固定負債合計	292,214	351,362
負債合計	728,326	825,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,194	105,194
利益剰余金	766,740	799,381
自己株式	△14,460	△14,415
株主資本合計	907,474	940,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,211	33,561
繰延ヘッジ損益	937	1,032
為替換算調整勘定	△59,974	△13,102
その他の包括利益累計額合計	△24,825	21,491
新株予約権	4,085	4,286
少数株主持分	29,010	27,043
純資産合計	915,745	992,981
負債純資産合計	1,644,071	1,818,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	745,632	807,067
売上原価	230,229	266,568
売上総利益	515,403	540,499
販売費及び一般管理費	421,862	440,419
営業利益	93,540	100,080
営業外収益		
受取利息	3,267	2,483
受取配当金	2,361	2,284
デリバティブ評価益	4,668	2,662
その他	2,804	1,992
営業外収益合計	13,101	9,423
営業外費用		
支払利息	3,638	3,865
持分法による投資損失	195	510
為替差損	5,577	14,588
その他	1,544	2,082
営業外費用合計	10,955	21,047
経常利益	95,686	88,456
特別利益		
固定資産売却益	2,532	14,920
退職給付信託設定益	—	8,198
投資有価証券売却益	612	8,025
その他	47	1,589
特別利益合計	3,192	32,733
特別損失		
固定資産処分損	1,812	1,177
減損損失	8,594	3,108
事業再編損	766	12,983
投資有価証券評価損	1,105	185
環境対策費	46	134
投資有価証券売却損	598	—
環境対策引当金繰入額	383	—
たな卸資産廃棄損	104	—
その他	95	778
特別損失合計	13,505	18,367
税金等調整前四半期純利益	85,373	102,822
法人税等	29,942	32,543
少数株主損益調整前四半期純利益	55,430	70,279
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,930	△4,621
四半期純利益	51,500	74,900

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	55,430	70,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	968	△654
繰延ヘッジ損益	1,153	149
為替換算調整勘定	13,534	49,380
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	0
その他の包括利益合計	15,643	48,877
四半期包括利益	71,074	119,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,625	121,205
少数株主に係る四半期包括利益	4,448	△2,049

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	600,554	145,078	745,632
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,305	1,263	2,568
計	601,859	146,341	748,201
セグメント利益	66,627	22,972	89,599

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	89,599
取得原価配分額の償却	△2,049
のれんの償却額	△1,805
セグメント間取引消去	△200
その他の連結調整	△170
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	85,373

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	674,619	132,448	807,067
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,149	1,137	2,286
計	675,768	133,586	809,354
セグメント利益又は損失(△)	118,491	△13,777	104,714

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	104,714
取得原価配分額の償却	△2,308
のれんの償却額	△1,801
セグメント間取引消去	68
その他の連結調整	2,149
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	102,822